

モニタリングレポート(令和3年度)					
施設名	鈴鹿市河川防災センター				
施設所在地	鈴鹿市庄野町981番地の1				
指定管理者名	株式会社 GFM				
評価担当課	防災危機管理課	問合せ先	059-382-9968		
施設の運営状況	(確認方法)日報, 月次報告書, 年度事業報告書				
開館日数	359日	総利用者数	3,312	1日当たりの利用者数	9人
開館時間	午前8時30分から午後5時まで				
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
指定管理料	13,200,000	13,200,000	0		
利用料金	0	0	0		
収入計	13,200,000	13,200,000	0		
人件費	7,122,000	7,075,403	▲ 46,597		
旅費交通費	280,000	290,536	10,536		
通信運搬費	85,000	98,305	13,305		
受信料	90,000	89,916	▲ 84		
消耗品費	280,000	246,559	▲ 33,441		
修繕費	500,000	202,620	▲ 297,380		
印刷製本費	20,000	177,870	157,870		
燃料費	20,000	0	▲ 20,000		
光熱水費	1,800,000	1,906,307	106,307		
賃借料	0	0	0		
手数料	0	28,050	28,050		
保険料	150,000	136,910	▲ 13,090		
委託費	2,000,000	1,835,600	▲ 164,400		
本部管理費	50,000	0	▲ 50,000		
備品購入費	0	0	0		
租税公課	790,000	756,700	▲ 33,300		
支出計	13,187,000	12,844,776	▲ 342,224		
収支	13,000	355,224	342,224		
自主事業収入	130,000	103,029	▲ 26,971		
自主事業経費	15,000	19,755	4,755		
自主事業収支	115,000	83,274	▲ 31,726		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価してください。)	月次報告書	○	すべて適切に履行されている。
	現地調査	○	すべて適切に履行されている。
	定例報告会	○	すべて適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価してください。)	アンケート	優良	新型コロナウイルス感染症により、利用制限があったものの、満足の評価をいただいた。より一層のサービス向上を意識して運営してくよう指導した。
	現地調査	優良	衛生面、景観面等いずれも高水準で維持されている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価してください。)	貸借対照表	○	マニュアルの確認事項は全て問題なし。
	損益計算書	○	マニュアルの確認事項は問題なし。
	年度事業報告書 (事業収支表)	○	マニュアルの確認事項は問題なし。
年度業務報告書の内容評価			○適・不適
事業収支において黒字を継続しており、業務の履行、サービスの質ともに優秀な内容である。今後も引き続き、良質なサービスを提供していただきたい。			
定例報告会の頻度と内容の評価			○適・不適
年4回開催し、報告に関する質疑応答、課題共有などを行った。また、自主的な改善提案があるなど意欲的な内容であった。			
緊急時の対応評価			○適・不適
令和3年度は大きな災害はなかったが、対応準備は整っていた。			
指定管理者の総括評価			○適・不適
業務の遂行、サービスの質、業務遂行能力に問題はなく、また、危機発生時の準備もできており、市の防災拠点としての役割を理解し運営されている。			
施設の課題と対策			
新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると、施設利用者は大きく減少しているが、昨年度と比べると利用者数は増加している。引き続きコロナウイルス感染対策に留意しつつ、適切な施設運営を行う。また、令和4年度から稼働開始となる公共施設予約システムの適切な管理・運用により、稼働率の増加及び利便性の向上に努める。			
施設の方向性			
河川防災センターは防災拠点として重要な施設であるため、今後も質の高い管理を維持していけるように指導を続けていく。			